



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 ペガサスミシン製造株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6262 URL <https://www.pegasus.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 美馬 成望  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 吉田 泰三 (TEL) 06 (6451) 1351  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月20日 配当支払開始予定日 2019年6月21日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月21日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	18,891	11.3	2,306	4.2	2,542	25.2	2,079	63.6
2018年3月期	16,978	△10.5	2,212	△20.9	2,030	△28.3	1,270	△39.6

(注) 包括利益 2019年3月期 1,393百万円(△7.9%) 2018年3月期 1,511百万円(72.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	83.80	—	9.5	8.8	12.2
2018年3月期	51.22	—	6.0	7.2	13.0

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	29,853	22,989	74.8	900.23
2018年3月期	28,097	22,200	76.6	867.46

(参考) 自己資本 2019年3月期 22,335百万円 2018年3月期 21,522百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,753	△1,751	59	6,202
2018年3月期	2,403	△582	△1,478	6,316

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00	545	43.0	2.6
2019年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00	595	28.1	2.7
2020年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00		47.4	

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,210	△7.1	630	△54.6	570	△65.9	450	△69.0	18.14
通期	19,300	2.2	1,860	△19.3	1,780	△30.0	1,360	△34.6	54.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	24,828,600株	2018年3月期	24,828,600株
② 期末自己株式数	2019年3月期	17,944株	2018年3月期	17,944株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	24,810,656株	2018年3月期	24,810,656株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	9,386	4.0	541	△33.4	1,236	△5.3	1,006	4.4
2018年3月期	9,022	△6.4	813	0.3	1,304	0.8	963	△10.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期	40.55		—					
2018年3月期	38.85		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2019年3月期	20,188		14,744		73.0	594.27		
2018年3月期	18,471		14,321		77.5	577.24		

(参考) 自己資本 2019年3月期 14,744百万円 2018年3月期 14,321百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2019年5月22日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、年度後半には米中間の通商政策の激化から中国経済の減速が顕著になりましたが米国の個人消費は底堅く持続し、英国のEU離脱交渉の先行き不透明感や、世界的な地政学リスクなど、世界の通商政策の動向や各国の金融政策の変動による不確定要素を抱えながらも、総じて堅調に推移しました。

日本経済は、雇用情勢や所得環境は改善が持続しているものの、海外経済の不確実性により、景気は力強さを欠く展開となっております。

工業用ミシンにつきましては、引続き価格戦略機種の投入を進めシェア拡大に注力しつつ、多様な顧客ニーズに応えるべく上級機種の販売にも努めました。世界経済の成長に変化が見えはじめ、米中対立の長期化による景気や為替相場への影響など不安定な要因を抱えておりますが、当社の工業用ミシンに対する需要は、全体で見ますと回復傾向を示しました。一方、自動車部品を中心とするダイカスト部品につきましては、底打ちはしたものの主要取引先の在庫調整の影響から、通期の需要は低調となりました。

このような環境のもと、当連結会計年度の売上高は188億91百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

利益面につきましては、戦略機種の投入効果などにより営業利益は23億6百万円（前年同期比4.2%増）、また、営業外収益で為替差益が発生し経常利益は25億42百万円（前年同期比25.2%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は20億79百万円（前年同期比63.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (工業用ミシン)

工業用ミシンにつきましては、戦略機種投入効果や上級機種も継続して販売が進んだことなどから、売上高は161億93百万円（前年同期比14.0%増）、営業利益は34億23百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

#### (ダイカスト部品)

ダイカスト部品につきましては、販路拡大に向けた販売活動に引き続き注力しておりますが、主要取引先の在庫調整の影響を受け、売上高は26億97百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は59百万円（前年同期比70.7%減）となりました。

当連結会計年度における子会社の動向につきましては、工業用ミシン事業は、市場のニーズに対応して、「ペガサス（天津）ミシン有限公司」「PEGASUS VIETNAM SEWING MACHINE CO., LTD.」にて戦略機種の増産体制の整備を引続き行いました。ダイカスト部品事業は、米国市場の需要に対応すべく設立した「PEGASUS AUTO PARTS MONTERREY S. A. DE C. V.」において、量産開始を目的として2百万米ドル（2億27百万円）の増資を行いました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、210億79百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が3億39百万円、商品及び製品が2億79百万円それぞれ増加し、貸倒引当金が1億15百万円減少したこと、現金及び預金が7億78百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて23.9%増加し、87億73百万円となりました。これは、主として有形固定資産が15億30百万円、投資その他の資産が2億12百万円、それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%増加し、298億53百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、45億37百万円となりました。これは、主として流動負債のその他が97百万円、未払法人税等が90百万円、支払手形及び買掛金が73百万円それぞれ増加し、1年内償還予定の社債が1億91百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて61.6%増加し、23億26百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加し、社債が1億6百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて16.4%増加し68億63百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.6%増加し、229億89百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する当期純利益が20億79百万円となり、為替換算調整勘定が7億53百万円減少したことなどによります。

自己資本比率は前連結会計年度末の76.6%から74.8%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億14百万円減少し、当連結会計年度末には62億2百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、17億53百万円(前連結会計年度比27.1%減)となりました。これは主として税金等調整前当期純利益25億39百万円、減価償却費6億19百万円、仕入債務の増加額1億25百万円に対し、たな卸資産の増加額6億76百万円、売上債権の増加額4億68百万円、法人税等の支払額4億24百万円などによります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は17億51百万円(前連結会計年度比200.5%増)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出23億71百万円などによります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、59百万円(前連結会計年度は支出14億78百万円)となりました。これは主として長期借入による収入額13億50百万円に対し、配当金の支払額5億70百万円、社債の償還による支出額3億11百万円、長期借入金の返済による支出額2億49百万円などによります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率	64.7	69.1	72.3	76.6	74.8
時価ベースの自己資本比率	50.4	44.3	77.0	65.7	50.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	287.8	180.2	177.4	100.4	178.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	19.7	34.8	34.1	40.2	32.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値より算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、2018年3月期については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標となっております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しとしましては、グローバルでの通商問題や地政学的リスクの高まりから、国際情勢は安定せず、成長を続けてきた世界経済が転換点を迎える可能性を含んでおり、不透明な状況が続くものと予想しております。

このような環境のもと、当社グループは、2020年3月期を最終年度とする中期経営計画の達成に向け取り組んでまいりましたが、事業環境の変化を踏まえつつ、次期中期経営計画の策定を見据え、引き続き主力事業の強みを生かした成長と、収益構造及び経営基盤の強化を推進してまいります。

具体的には、工業用ミシン事業におきましては、製造のコストダウン推進とともに、製品・品質・サービスの3つの差別化を更に徹底することで、価格政策によるマーケットの拡大や、アパレル製品のグローバルサプライチェーンによる、企画から生産のリードタイムの短縮やカスタマイズ化など、顧客ニーズの多様化に対応可能な先進的製品の提供などに努めてまいります。特に、前期から取り組んでおりますマーケット拡大施策では、ダイレクトドライブモーターを搭載したオーバーロックミシンに加え、新たにダイレクトドライブモーター搭載の偏平縫いミシンを市場に投入し、未開拓市場の掘り起しを加速してまいります。ダイカスト部品事業におきましては、これまでの中国とベトナムでの生産拠点に加え、メキシコでも生産を開始しました。これによりグローバルに展開する部品メーカーのニーズに対応可能な供給体制が整い、今後は生産拡大と高付加価値化を進め、併せて新規顧客開拓強化にも、引き続き取り組んでまいります。長期的視点からは、世界人口が確実に増加しているなか、新興国での生活水準の向上に伴い、衣料需要ならびに自動車需要は今後も拡大が継続するものと予想しております。

以上の取り組みにより、2020年3月期の連結業績見通しは、売上高193億円、営業利益18億60百万円、経常利益17億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益13億60百万円を見込んでおります。

※ 上記見通しは、次のレートを前提としております。 (米ドル : 110円)

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、将来における I F R S (国際財務報告基準) の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,277,509	6,499,444
受取手形及び売掛金	4,355,293	4,694,923
商品及び製品	4,973,780	5,253,712
仕掛品	722,521	728,371
原材料及び貯蔵品	3,430,014	3,528,314
未収入金	5,938	12,825
その他	405,321	398,382
貸倒引当金	△152,173	△36,676
流動資産合計	21,018,206	21,079,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,384,714	5,925,960
減価償却累計額	△3,339,478	△3,100,803
建物及び構築物（純額）	3,045,236	2,825,156
機械装置及び運搬具	6,366,186	6,535,946
減価償却累計額	△4,815,341	△4,672,145
機械装置及び運搬具（純額）	1,550,844	1,863,801
工具、器具及び備品	908,247	909,032
減価償却累計額	△726,979	△746,686
工具、器具及び備品（純額）	181,267	162,346
土地	919,391	918,156
リース資産	69,033	69,033
減価償却累計額	△12,883	△22,307
リース資産（純額）	56,150	46,725
建設仮勘定	254,610	1,722,232
有形固定資産合計	6,007,500	7,538,418
無形固定資産	611,087	561,706
投資その他の資産		
投資有価証券	207,948	186,979
退職給付に係る資産	—	45,816
繰延税金資産	138,926	298,670
その他	114,038	142,334
投資その他の資産合計	460,913	673,800
固定資産合計	7,079,501	8,773,925
資産合計	28,097,708	29,853,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,522,764	1,596,219
短期借入金	1,108,437	1,049,050
1年内返済予定の長期借入金	229,920	288,630
1年内償還予定の社債	302,500	111,000
未払法人税等	541,527	631,798
賞与引当金	178,648	188,931
その他	573,838	671,805
流動負債合計	4,457,637	4,537,435
固定負債		
社債	106,250	—
長期借入金	456,820	1,498,190
長期預り保証金	120,000	117,000
退職給付に係る負債	581,489	558,617
その他	175,099	152,608
固定負債合計	1,439,659	2,326,416
負債合計	5,897,296	6,863,852
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,983,084	2,983,084
利益剰余金	14,488,368	15,996,758
自己株式	△5,350	△5,350
株主資本合計	19,721,655	21,230,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,482	10,467
為替換算調整勘定	1,844,500	1,091,033
退職給付に係る調整累計額	△67,381	3,678
その他の包括利益累計額合計	1,800,601	1,105,179
非支配株主持分	678,155	654,146
純資産合計	22,200,411	22,989,371
負債純資産合計	28,097,708	29,853,223



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	16,978,731	18,891,106
売上原価	10,118,771	11,753,875
売上総利益	6,859,960	7,137,231
販売費及び一般管理費	4,647,646	4,831,164
営業利益	2,212,313	2,306,067
営業外収益		
受取利息	25,460	28,022
受取配当金	8,536	31,632
為替差益	—	204,403
その他	41,369	36,545
営業外収益合計	75,366	300,604
営業外費用		
支払利息	55,977	57,295
為替差損	169,233	—
シンジケートローン手数料	27,000	—
その他	4,691	6,399
営業外費用合計	256,903	63,694
経常利益	2,030,777	2,542,977
特別利益		
固定資産売却益	3,389	1,186
退職給付に係る負債戻入額	11,716	—
特別利益合計	15,105	1,186
特別損失		
固定資産売却損	841	4,623
固定資産撤去費用	90,274	—
特別損失合計	91,115	4,623
税金等調整前当期純利益	1,954,766	2,539,540
法人税、住民税及び事業税	361,743	582,862
法人税等調整額	275,572	△165,416
法人税等合計	637,316	417,446
当期純利益	1,317,450	2,122,094
非支配株主に帰属する当期純利益	46,610	43,059
親会社株主に帰属する当期純利益	1,270,840	2,079,035

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,317,450	2,122,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,822	△13,015
為替換算調整勘定	107,500	△787,054
退職給付に係る調整額	66,183	71,060
その他の包括利益合計	194,506	△729,009
包括利益	1,511,956	1,393,085
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,460,868	1,383,613
非支配株主に係る包括利益	51,088	9,471

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,255,553	2,983,084	13,738,551	△5,350	18,971,838
当期変動額					
剰余金の配当			△521,023		△521,023
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,270,840		1,270,840
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	749,816	—	749,816
当期末残高	2,255,553	2,983,084	14,488,368	△5,350	19,721,655

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,660	1,741,477	△133,565	1,610,572	668,181	21,250,593
当期変動額						
剰余金の配当						△521,023
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,270,840
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	20,822	103,022	66,183	190,028	9,974	200,002
当期変動額合計	20,822	103,022	66,183	190,028	9,974	949,818
当期末残高	23,482	1,844,500	△67,381	1,800,601	678,155	22,200,411

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,255,553	2,983,084	14,488,368	△5,350	19,721,655
当期変動額					
剰余金の配当			△570,645		△570,645
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,079,035		2,079,035
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,508,390	—	1,508,390
当期末残高	2,255,553	2,983,084	15,996,758	△5,350	21,230,045

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	23,482	1,844,500	△67,381	1,800,601	678,155	22,200,411
当期変動額						
剰余金の配当						△570,645
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,079,035
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△13,015	△753,466	71,060	△695,421	△24,008	△719,430
当期変動額合計	△13,015	△753,466	71,060	△695,421	△24,008	788,959
当期末残高	10,467	1,091,033	3,678	1,105,179	654,146	22,989,371

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,954,766	2,539,540
減価償却費	652,827	619,783
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20,422	△111,764
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	37,342	58,807
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△45,816
退職給付に係る負債戻入額	△11,716	—
受取利息及び受取配当金	△33,997	△59,655
支払利息	55,977	57,295
シンジケートローン手数料	27,000	—
為替差損益 (△は益)	△47,226	59,109
固定資産売却損益 (△は益)	△2,547	3,436
固定資産撤去費用	90,274	—
売上債権の増減額 (△は増加)	392,986	△468,014
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△378,547	△676,755
仕入債務の増減額 (△は減少)	46,969	125,895
未払金の増減額 (△は減少)	49,147	64,523
その他	114,083	1,744
小計	2,967,762	2,168,131
利息及び配当金の受取額	40,325	63,561
利息の支払額	△59,738	△54,056
法人税等の支払額	△544,523	△424,511
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,403,825	1,753,124
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,775,047	△983,535
定期預金の払戻による収入	1,785,929	1,613,247
有形固定資産の取得による支出	△640,292	△2,371,110
有形固定資産の売却による収入	15,143	8,505
無形固定資産の取得による支出	△14,487	△9,091
固定資産撤去に伴う支出	△90,274	—
投資有価証券の償還による収入	107,782	—
その他	28,540	△9,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△582,705	△1,751,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	420,000	1,350,000
長期借入金の返済による支出	△860,115	△249,920
社債の償還による支出	△429,710	△311,860
配当金の支払額	△521,023	△570,645
非支配株主への配当金の支払額	△41,122	△33,479
シンジケートローン手数料の支払額	△27,000	—
その他	△19,425	△24,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,478,396	59,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,793	△176,574
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	353,517	△114,817
現金及び現金同等物の期首残高	5,963,415	6,316,932
現金及び現金同等物の期末残高	6,316,932	6,202,114

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」387,095千円、「流動負債」の「繰延税金負債」1,336千円、「固定負債」の「繰延税金負債」252,662千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」138,926千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1 報告セグメントの概要

##### (1) 報告セグメントの決定方法

当社企業グループの報告セグメントは、当社企業グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社企業グループは、製品・サービス別の製造販売体制を置き、取り扱う製品・サービスについて全世界を対象とした包括的な戦略を立案し、事業展開しております。

従って、当社企業グループは製造販売体制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「工業用ミシン」及び「ダイカスト部品」の2つを報告セグメントとしております。

##### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「工業用ミシン」は、主にニット衣料等の縫製に使用される環縫いミシンの製造販売をしております。「ダイカスト部品」は、自動車用安全ベルト関連部品をはじめとするダイカスト部品の製造販売をしております。

#### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業のセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,206,488	2,772,242	16,978,731	—	16,978,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,206,488	2,772,242	16,978,731	—	16,978,731
セグメント利益	3,126,286	204,505	3,330,792	△1,118,479	2,212,313
セグメント資産	19,816,816	5,144,686	24,961,503	3,136,205	28,097,708
その他の項目					
減価償却費	363,932	253,137	617,070	35,756	652,827
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	354,649	226,456	581,105	73,674	654,780

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産3,136,205千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) その他の項目の減価償却費調整額は、全社資産の償却額及びセグメント間消去であります。また有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,193,467	2,697,639	18,891,106	—	18,891,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,193,467	2,697,639	18,891,106	—	18,891,106
セグメント利益	3,423,813	59,942	3,483,755	△1,177,688	2,306,067
セグメント資産	20,015,854	5,012,307	25,028,161	4,825,062	29,853,223
その他の項目					
減価償却費	332,496	267,425	599,921	19,861	619,783
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	357,198	614,581	971,780	1,408,421	2,380,201

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産4,825,062千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) その他の項目の減価償却費調整額は、全社資産の償却額及びセグメント間消去であります。また有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	867円46銭	1株当たり純資産額	900円23銭
1株当たり当期純利益金額	51円22銭	1株当たり当期純利益金額	83円80銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,270,840	2,079,035
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,270,840	2,079,035
期中平均株式数(株)	24,810,656	24,810,656

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	22,200,411	22,989,371
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	678,155	654,146
(うち非支配株主持分)(千円)	(678,155)	(654,146)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	21,522,256	22,335,225
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	24,810,656	24,810,656

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

役員の異動につきましては、当決算短信と同日に開示いたします。